

ぎのぎ

あなたと議会を結ぶ情報誌

議会だより

平成30年(2018)
発行/8月24日

No.128

平成30年 第4回 6月定例会・第5回臨時議会



宜野座村における犯罪を抑止するとともに、村民の安心安全を確保することを目的
沖縄安全対策事業費補助金（防犯灯設置工事） 城原～漢那線

目次

- 平成30年第4回6月定例会（8名の議員一般質問）……………P.2～10
- 平成30年第4回6月定例会・第5回臨時会の議決結果……………P.11
- 議会議員研修会など……………P.12



■発行：宜野座村議会 ■編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1392 沖縄県宜野座村字宜野座296番地 電話（098）968-8326

我が村政を問う

6月定例会では、8人の議員が23件の ※一般質問（施政方針に関する質問含む）を行い、活発な議論を展開しました。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人30分以内で、答弁時間は含まない。質問した議員は自ら原稿をおこし、それを掲載しています。（1人1ページ）

詳しくは各区公民館、村文化センター図書館に配布される議会会議録又は、村ホームページから、議事録をご覧ください！

※一般質問とは??

村政全般にかかわるさまざまなテーマについて、村の方針や村長の考え、事業の計画や詳細、効果など村民の生活にかかわる多岐にわたった内容を問いただすこと。議員にとって一般質問は、もっとも華やかで意義のある発言の場であり、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。

平田 嗣義 議員

- 一、保健医療・福祉について
- 二、さとうきびの振興について

當眞 嗣則 議員

- 一、これまで数回に亘り質問した件で、明確に進展がなかったことについて
- 二、宜野座堆肥の普及について
- 三、村の修景美化について
- 四、土地改良区の所有地境界の復元について

新里 文彦 議員

- 一、宜野座堆肥センター資材活用について
- 二、事業所安全見守り協定について

山内 昌慶 議員

- 一、観光拠点施設のゴミ等について
- 二、国際交流村の建設物の処分方法について

伊芸 朝健 議員

- 一、嘉手納以南統合計画におけるキャンプハンセンへの移設について
- 二、子育て支援への対応について
- 三、金武地区清掃センターについて
- 四、県立農業大学の移設誘致について

眞栄田 絵麻 議員

- 一、平成30年度村長の施政方針について
- 二、辺野古問題について
- 三、県民投票について

照屋 忠利 議員

- 一、農業大学の誘致について
- 二、宜野座村土地改良農道整備について
- 三、国道の改修について

安富 繁 議員

- 一、漢那福地川周辺整備計画について
- 二、道の駅「ぎのぎ」観光拠点施設について
- 三、辺野古新基地建設に関する県民投票について



平田 嗣義 議員

保険医療・福祉

問 健康保険料と介護保険料の実態はどのように推移してきているか

答 村長

本村の健康保険税の賦課方式は所得割、資産割、均等割、平等割を採用している。保険税の収入については増加傾向にある。被保険者の納税意識も高まってきている。しかし、医療費は増加傾向で一般会計からの繰入金を予算措置しなければならぬ厳しい状況である。今度とも国保財政の適正化に向けて努力していく

問 現在の施策で保険料を抑える体制ができると確信しているか。それともまだ手を加えなければいけないという方向で考えられているか

答 村長

商工会の商品券など活用しながら参加した皆さんに提供する取り組みを今年度は新たな事業として考えている

問 村民が安心して暮らせる保健事業の施策の推進はどのように取り組んでいくか

答 村長

特定健診の受診率向上に向けて個人へのインセンティブを商工会との連携で取り組み、健康講演会健康ウォーク、生き生きフェスティバル、各区との健康づくり事業などを連動させながら、様々な事業を展開し、健康意識向上も併せて取り組んでいく予定。経済面の支援も行ないながら安心して医療が受けられる体制づくりに向けて更に努力していく

問 ひとり暮らしの高齢者や障がい者の災害時、緊急時の対応はどのようになっているか

答 村長

平成29年度避難行動要支援者名簿を作成した。その後民生委員に訪問調査を依頼している。名簿登

答 村長

今後の国や県の動向なども見ながら介護職員の確保、支援対策についてどのようなことが出来るか検討していきたい

さとうきび振興

問 村の防除協議会の取組みは

答 村長

毎年3月末に防除協議会を開催し、防除摘期時期は沖縄県病害虫防除技術センターからの情報を参考に実施時期を決定

問 今年は4月以降雨が降らなく虫の発生が蔓延している状態。2回の防除を協議会の中でできないか

答 村長

再度協議会の中で出来るか検討する

問 干ばつ対策は

答 村長

水管理委員会を早めに開催するよう調整している

録を希望する方には同意書を記載していただき現在169世帯の登録がある。名簿は、民生委員、社会福祉協議会、各区、金武地区消防衛生組合、消防団等で活用し、災害時には避難連絡、安否確認、救助活動に活用し、平常時は声かけ見守りなどに活用し、今後は図面も作成していきたい。独居高齢者への緊急時の対応としては、電話回線を利用した緊急通報システムを民間事業者に委託して現在250名の方が利用している

問 宜野座村に住民登録されていない高齢者の把握は

答 健康福祉課長

今回の調査は対象となっていない。今後調べていきたい

問 地域協議体の進捗状態は

答 健康福祉課長

健康福祉課内で現在勉強会、検討会をやっている。早めの設置に向けて取り組んでいきたい

問 介護職員の支援対策は



眞嗣 議員

これまで数回に亘り
質問した件で明確に
進展がなかったこと

問 宜野座大川の水質と汚泥の対策、
物質内容は

答 村長

汚泥の蓄積状況は目視でも堆積が確認できるが、具体的な河川の水質汚濁調査は現在実施していない。河川調査について、現在補助メニューを探し、宜野座村内の河川の蘇生及び事業化まで検討できるように大きな掛かりな調査としたいために調査中

問 松田カタバルに堆積した赤土の除去とその活用は

答 村長

今日では幾分かの改善は見られるものの、他の河川と同様に強風時には赤土の流出が続いている状況。近年は台風等の影響により、表土が厚い砂で覆われ、50センチメートル掘り下げて以前見られたヘドロ状の赤土が見えない状況まで自然が回復しています。堆積した赤土を資源として活用する事業に取組めるのではないかとこの意見もあり、陶芸などの焼き物に使用する土としての活用。堆積した土の不純物や砂などをきれいに分離することができれば、活用は可能かもしれないと陶芸家の意見もいただいている

問 松田小学校に設置された風力発電の管理は

答 村長

継続して不具合の調査及びメンテナンスを実施している。4月中旬に特殊部品のパワーモジュール（電子部品）の取替え工事を実施したが、風車の稼動には至っていない。今後も継続して調査を実施していく

宜野座堆肥の普及

問 宜野座堆肥の普及は

答 村長

村内農家の宜野座堆肥の利用状況は、平成27年度が459t、平成28年度が334t、平成29年度が463t。利用促進のためJA生産部会の総会などで利用を促進している。堆肥センターで堆肥散布車の購入のため予算計上し、購入予定で今後の宜野座堆肥の利用促進につながる

村の修景美化

問 村の修景美化は

答 村長

宜野座景観むらづくり条例第26条の表彰及び支援に規定があり、第3項で村長は積極的に景観形成に努めようとする個人、団体または地域に対し、規則で定めるところにより必要な技術支援を行い、また予算の範囲内において当該活動に要する経費の一部を助成することができ、また同条例の施行規則第28条支援等において、景観

土地改良区の所有者
境界の復元

問 土地改良区の所有者の境界の復元は

答 村長

土地改良事業による境界は、土地改良法に基づき換地処分の手続きを行い、その後権利者会議で承認された換地計画書に基づき、本登記を実施して事業完了になるが事業完了時に境界くいが設置されている。また土地境界管理においては所有者が行なう。しかし、事業完了から数年経っており、境界くいが農作業機械等で動かされるなど、境界が分からない箇所が出てきている。土地改良区並びに産業振興課で測量確定図などを活用しながら、大まかな境界を提示することができる



新里 文彦 議員

宜野座堆肥センター 資材活用

問 宜野座村オガ粉を利用した菌床
しいたけの発芽試験は

答 村長
北部森林組合と業務提携先が、
菌床栽培に活用し、宜野座村産の
オガ粉を初め、他地区から仕入れ
ているオガ粉を使用し、しいたけ
を栽培しているが、発芽率が落ち
ているため現在林業試験場、県等
とオガ粉の大きさや配合等、発芽
試験を実施しているとのこと

問 栽培・販売計画は

答 村長
専門的な知識や技術、ハード面
の整備等が必要になることから、
今後事業化が可能かどうかも含め

て検討する

答 産業振興課長

村では、3年前前から一農家が
試験的に始めて、去年から生産が
出始めている。栽培技術も難しく、
湿度の調整、日陰の問題など今習
いながら実施している。農家の方
が栽培技術が確立した段階で、宜
野座村の生産という形で販売して
いけるのかと考えている

事業所安全 見守り協定

問 高齢者や一人暮らし世帯など、
村民の安全見守りとして配達事業
配達の方が異変に感じた時の連
絡協定は結べないか

答 村長
村では、日本郵便株式会社と地
域における協力に関する協定締結
にむけ、高齢者や障がい者、子ど
も、その他住民などの何らかの異
変に気付いた場合や道路の異常、
不法投棄が疑われる廃棄物などを
発見した場合、情報提供を行なう
もので、協定の締結は今年の7月
24日を予定している

問 地域もやはり協力していくため
に、異変を感じたら、早急な対応
をしなければならぬが、連絡・
窓口はどこか

答 総務課長

総務課が窓口対応。土日の対応
は、警備のほうから緊急連絡網で、
総務課長と担当職員に電話が行く
ことになっている。そこからまた
担当課の課長に連絡体制で行なっ
ている

問 役場だけではなく、新聞配達員
行政班長も各区にいる。うまく連
携して対応が必要だと思いが、検
討しているか

答 村長

見守りというのは行政だけでは
なく、全体でやっていかないと
なかなか出来ない部分があるが、区長
会にも相談し、区に連絡が行くと
いう流れも出来れば良いと思っ
ている

問 声を掛け合いながら、安心・安
全な宜野座村のづくり方をやって
いければと思っておりますので今後
の取組みに期待する



宜野座村・郵便局
地域における協力に関する協定締結式

地域における協力に関する協定

- 地域見守り活動の協力
(業務中に高齢者や子ども等の何らかの異変を発見した場合)
- 道路損傷の情報提供
- 不法投棄の情報提供

協定書を交わした左から名嘉眞宜野座郵便局長、眞眞村長、渡嘉敷具志川郵便局長
= 7月24日 宜野座村役場



山内 昌慶 議員

観光拠点施設の ゴミ等

問 今回の客足からすると、ゴミの量は、どのような処理方法をしたか

答 村長
日曜日を除き、村の2トン車を
使用し、燃えるゴミ、燃えないゴミをそれぞれ1日1回ずつ搬出した。リニューアルオープン後も燃えるゴミ、燃えないゴミそれぞれ1日1回ずつ、軽トラックにて搬出している。未来ぎのぎのゴミとまとめて未来ぎのぎの職員が処理をしている

問 道の駅フェスティバルはイベントだと思うが

答 観光商工課長
イベントとなる

問 イベントの場合は一般ゴミだけと考えているか

答 村民生活課長
一般廃棄物に該当する

問 事業系ゴミは一般廃棄物と産業廃棄物がでるがこれは

答 村民生活課長
一般廃棄物として捉えていい

問 下水道処理について、今後この地域住民の必要量の対応は大丈夫か

答 村長
漠那城原地区クリーンセンターの施設能力は、1日当りの計画容量が810立米となっており、ゴールデンウィーク期間中の搬入量は、最大で541・4立米、計画処理能力に対して66・8%となっている、今後の人口増加等に対しても十分対応できる

問 集落排水処理場、早めに機能しなくなってくるのではないか

答 上下水道課長
まだかなり余裕がある



福山ゴミ焼却炉施設安全祈願祭の様子

国際交流村の 建設物の処分方法

問 国際交流村の処分方法は、今後どのような対処をするか

答 村長
平成27年度当初予算に撤去費用を計上したが、企業から建物は現状のままよいとの同意を得ている。開発の用途決定を待っている状況

問 国際交流村は年間維持経費が掛かっているか

答 総務課長
電気、水道等すべて停止した状況。現在維持費は掛かっていない

問 老朽化したらコンクリート片が落ちたりする。もし子ども達が怪我をした場合どうするか

答 総務課長
施設して、立ち入りできない。現在、剥離等はまた見えない状況

(議会一口メモ)

質問 村長が提出した予算案を、議会はどこまで修正することができるか？また、議会の修正議決に異議あるとき、どのような措置をとることができるか？

回答 議会は、村長が提出した予算案を増額・減額して修正することが可能。村長は議会の修正議決に異議がある場合には、再議に付することが可能である。



伊芸 朝健 議員

嘉手納以南統合計画 におけるキャンプ ハンセンへの移設

問 統合計画の現状について、本村への影響と今後の統合計画は

答 村長

平成30年5月11日に公表されたキャンプハンセンのマスタープランで、新たに約30棟の施設が移設され、約100棟の移設が整備される計画が示され、移設される施設は、コミュニティサービスパイプなどの管理事務所、整備工場、倉庫など。現在公表されているのは施設の移設のみであり、従業員の数など詳細が明らかになっておらず、今後を見通すのは現時点では厳しい状況。三連協で連携を取り対応していく。去る5月19日の菅官房長官との個別会談時に金武町長がキャンプハンセンへの受入

れを容認している

問 米軍や自衛隊への演習は基地強化は問題ないか

答 村長

現状は、米軍航空機による騒音被害等が発生している状況、今回の統合計画で、米軍や自衛隊の演習が強化されるようなことがあれば、村民の安心・安全を守る立場で関係機関への要請など粘り強く行動をしていく

子育て支援 への対応

問 給付型奨学金の創設について、その後の検討結果は

答 村長

現状としては、まだ結論が出ていない状況。親の経済的な部分などで優秀な子どもが大学進学を諦めないようにするためにも、給付型奨学金の導入は行なうべきではないかと考えているが、慎重に協議し、今年度中に結論を出したい

問 現在市町村の実施状況は

答 村長

財源や給付方法と条件はそれぞれ異なるが、県内7市町村が導入している。(糸満市、豊見城市、浦添市、北谷町、石垣市、竹富町、今帰仁村)

問 給付型奨学金の制度創設の課題は

答 村長

現在行なっている無利子の貸与型の育英資金は、申請者すべてに資金貸与を行なっている。この育英資金との線引きはどのようにするか課題がある。教育課と情報交換し連携をとり、育英会の役員会で審議していく

金武地区 清掃センター

問 実施計画と課題は

答 村長

平成29年度は建設予定地の造成工事が完了、今年度8月から本体工事に着手、平成32年3月に完成予定、試験運転を経て、9月供用開始予定で、現在のところ課題はない

問 惣慶区への説明会、同意はどのようになっているか。また惣慶山権者会との覚書は

答 村長

平成25年1月24日に当時の区長と山権者会理事に報告と協力依頼を行なっている。平成29年3月13日の山権者会との話し合いで経緯と事業の進捗状況などを説明し、平成30年2月1日に金武地区清掃センター用地の無償貸借の覚書の締結に至っている。惣慶区への説明会については必要があれば検討するが、同意については、山権者会との覚書締結で同意は得られたものと理解している

県立農業大学の 移設誘致

問 現在の状況は

答 村長

県に確認し、平成29年10月に策定された沖縄県有施設整備計画において移転が位置づけられ、関係部署と調整を行なっているとのこと、現段階においても3市町村から絞込みは確定できていないとのこと



眞栄田絵麻 議員

平成30年度 村長の施政方針

問 保育士確保対策は

答 村長

県内市町村においても待機児童が発生している状況の中、保育士確保を目的に、今年度より村独自の予算で保育士資格取得後3年未満の村出身者を対象に、村内認可保育園へ就職が決まった場合、就職準備金の貸付を実施する。2園それぞれ3名を上限に、1人20万円の就職準備金を貸与し、1年間継続して勤務した場合は返還を免除。資格取得後3年未満を対象とする理由は、村外の保育園などに就職する者が大部分であることから、村内への勤務と定着を支援す

るため施策を講じる必要がある

問 待機児童解消は

答 村長

村立保育所の増改築に伴い、平成30年度より定員を70名から77名と増員した。しかし出生数や転入の増加で今年度、1歳児において11名の待機児童が発生した。対策として今年度、松田、漢那両保育園とともに、受入れ拡充を見込んだ整備及び改修を予定。松田保育園は、定員を約22名増員する予定。漢那保育園は、定員を約20名増員する予定

問 プレミアム商品券を活用し、健康づくりに向けた意識向上は

答 村長

今年度、健康づくりに対する意識向上のため、特定検診の受診、健康講演会、健康ウォーク、いきいき健康フェスティバルへの参加者を対象とし実施予定

問 特産品開発について、現状と実現に向けてどのように取組むか

答 村長

漁業者からの相談で、加工場設置について中小企業基盤整備機構沖繩事務所と連携して支援を行っており、今年度もセミナー及び専門家派遣事業を通して、会員事業所の支援を行なう予定。宜野座の魅力を発信できる特産品やお土産品の商品開発のアイデアを募集し、認定者には奨励金を交付するコンテストを開催、宜野座村特産品アイデア応援奨励事業となっている。認定者は、実現に向けて取組んでいた、たき実効性を高めていきたい

辺野古問題

問 翁長知事は辺野古に新基地は造らせないと決意はみじんも揺るがない。撤回も行なうと明言され、使命感をもってぶれない信念のもとで沖繩を守る真つ当な政治家だと尊敬している。村長も真つ当な政治家を目指しているか

答 村長

村民の暮らしを豊かにする、住みよい地域にする、福祉向上を図る、子ども達の人材育成に取組む

産業振興に取組む、それをやるこ
とが私の真つ当な、政治家という
言葉は使いたくないが、使命だと
思う。周りが評価するものだと思
う

県民投票

問 県民投票は米軍基地に賛成、反対の人も議論し、自分の意見を反映させることを目的としている。条例ができたならご協力をしていただくという事になっているが

答 村長

県に確認した内容で、県民投票を提起するには有権者の50分の1の署名が必要。県は提出された署名を各市町村の選挙人名簿と照会し有効性を確認、確認された場合は、県が県民投票を行なうか否かを判断。県が行うと判断した場合、条例を制定しなければならぬ。住民投票は公職選挙法とはまた別のものであると伺っている。県民投票の事務を受け付けない市町村が出る可能性もあるというのが現実、たと思う



照屋 忠利 議員

農業大学校の誘致

問 平成27年第2回宜野座村議定会
例会において、要請決議され要請
してきたが、その後動きが見られ
ない。その後の状況は

答 村長
最近の状況は、6候補地から宜
野座村、名護市為又、今帰仁村の
3ヶ所に候補地が絞られた。国か
らの指導もあり、今後2年間をか
けて県の公共施設の整備計画を策
定するので、しばらく決定は待っ
てほしいとの県からの回答があつ
た。現段階においても3市村から
の絞り込みは確定されてないこと
と。候補地の決定が遅れることに
より諸問題が発生するので、早目
の決定と開学時期の決定を求めて
いるところ

問

農業大学校の誘致は松田区とし
て大変期待している。東北大震災
からもう7年経っていて、カタバ
ルの住民は避難場所がないという
ことで、農業大学校ができたら、
区長は避難場所として考えている。
出来るだけ早く決定してもらいた
いというのが私達区民の同意です
ので、色々なところで誘致活動を
お願いしたい

宜野座村土地改良 農道整備

問 水質保全対策事業宜野座村第3
地区は、平成24年度、工事完了と
いうことだが、舗装がやられてい
ない農道サー原8号・9号線は、
現状のままで終わるか。特にサー
原9号線は通学路として、シーサ
イド住民の小学生が多く利用して
おり、優先度も高いと思うが村の
考えは、農道路線番号42・村道サ
ー原線との取り付け部に雨水が溜
まるが単独予算の維持工事に対応
できないか。志利川原番号281
も検討してほしい

答

村長
現在通学路及び生活道路として
重要性が高いため、今後の農業農
村整備事業管理計画において農道
整備計画を検討しているが、産業
振興課内維持工事できないか検
討していく。また、土地改良区内
の農道サー原3号線と村道サー原
線の取り付け部、また志利川原22
号線の修繕も、土地改良区と連携
しながら維持工事で検討していく

問

3月予算の
中でもこの件
は話ししてい
るが、いまだ
にできていな
いから質問し
ている。早め
に工事が完成
するように



早期実現を!!

答

村長
商店前から辺野古方面へなかなか
入れない。志利川原方面から部落
内旧国道への通り抜けがなかなか
できない。高齢ドライバーからす
ると一苦労だと思う。路線改良で
国道事務所との協議はできないか

国道の改修

問 国道329号線、當眞商店前か
ら松田売店を過ぎたあたりまでの
路線がSカーブで見通しが悪く、
通勤時間帯は交通量が多い。當眞

これまで北部国道事務所との行
政懇談会で提案してきている。ご
指摘のS字カーブの見通しについ
ての国道事務所の対策として、視
認性を確保するための歩道側の植
樹帯の撤去、定期的のにり面の除
草、樹木の剪定を実施。また、車
両交通の減速を促すため電光矢印
の設置、車道中央部にはポストコ
ーンを設置して対応しているが、
松田区からの要望、現在交通量も
増加傾向にあることを踏まえ、今
後も引き続き
き北部国道
事務所と協
議していく



早期実現を望む



安 富 繁 議員

漢那福地川周辺 整備計画

問 整備する優先順位と着手年度についての考え方は

答 村長

優先して取組んでいるものとして、各ゾーンを結ぶ漢那旧国道線の改築工事を沖縄北部連携促進特別振興事業にて推進している。現状は車道橋梁がなく車両通行止めとなっており、この道路が開通することで周辺アクセスが飛躍的によくなる。現在、観光拠点施設の集客が想定よりも多く、駐車場不足問題も出てきており、直近としては、ゲートゾーンの取り組みを強化・推進していくべきと考える。リバーパーク検討委員会を開催し、次期の開発等について

協議していく予定

問 河口の閉塞対策が示されていないがどう考えているか

答 村長

漢那福地川は県管理の二級河川であるため、沖縄県土木建築部に對し、親水方護岸の整備も含め要請を行なっている

道の駅「ぎのざ」 観光拠点施設

問 オープンからゴールデンウィーク終了までの状況は

答 村長

道の駅「ぎのざ」フェスティバルの期間は、4万9658人の来場者が訪れている。営業状況は、未来ぎのざのレジ通過者が1万1009人、前年度より4455人増えている。売り上げは、今年度1080万4422円で、520万6635円増えている。テナントについては、賃貸借契約となっており、現時点では報告がない

5月末までの状況は

答 村長

来場者数4万6701人、未来ぎのざレジ通過数1万7894人、7142人増えている。今年度が2083万9434円、938万3003円増となっており、テナントは報告がない

問 完成後の施設について改善箇所はないか

答 村長

最大の課題は、施設利用者の駐車スペースの確保で、周辺住宅地への迷惑駐車が問題。駐車場の確保は、道の駅周辺の状況を調査し、関係機関と協議・調整していく

答 観光商工課長

道の駅会議の中で、14件は改善すべき箇所があると確認している。優先順位を含め、どのような対応ができるのか検討中

答 建設課長

2階の手すり部分については、設計上構造的に耐えられることで設置している。見た目がひ弱そう

なのは重々感じている。現状の中で補強しなければならぬならば補強していきたい

問 現在賑わっているフリーマーケットの今後は

答 村長

これまで道の駅「ぎのざ」の誘客に大きく貢献してきたと評価、しかし今年度から道路改築の予定、今後、開催はできない旨を通告し理解を得ている。道路使用許可は平成30年6月30日まで。工事がスタートすると約2年間はできない状況、完成後は復活できないか検討しながら設計を進めている

辺野古新基地建設 に関する県民投票

問 県知事から実施協力の依頼があった場合どう対処するか

答 村長

沖縄県で、具体的な内容が決まった時点で、どのような対処するか判断したい。住民の声を聞くことは大切なことだと思ふ。条件が整えば県民投票の実施に協力したい

平成30年 第4回 6月定例会（6月20日～22日）で決まったこと

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第25号	平成30年度宜野座村一般会計補正予算（第1号）について	歳入歳出それぞれ4千289万5千円を追加し、予算総額68億2千289万5千円とする	原案可決 (賛成6 反対5)
	平成30年度宜野座村一般会計補正予算（第1号）に対する修正動議	歳出 ハワイ宜野座村人会創立70周年記念事業897千円減額、宜野座村観光拠点施設維持管理委託料550万円減額、沖縄県人ブラジル・アルゼンチン移住110周年記念事業118万8千円減額し、ハワイ宜野座村人会創立70周年記念事業455千円を増額する。	原案否決 (賛成5 反対6)
議案第26号	平成30年度宜野座村国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）について	歳入歳出それぞれ15万1千円を追加し、予算総額8億8千14万1千円とする	原案可決
議案第27号	平成30年度宜野座村水道事業会計補正予算（第1号）について	資本的収入額2億6千6万4千円に、100万円を増額し、2億6千106万4千円とし、資本的支出額3億5千424万6千円に、114万円を増額し、3億5千538万6千円とする	〃
議案第28号	宜野座村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、本条例の一部を改正する	〃
議案第29号	宜野座村観光拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	宜野座村観光拠点施設の利用料金等の改正に伴い、本条例の一部を改正する	〃
議案第30号	宜野座村保育士就職準備金の返還免除に関する条例の制定について	宜野座村保育士就職準備金の返還免除について、条例を制定する必要があるため、同条例を制定する	〃
承認第1号	宜野座村税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	地方税法等の法律等の一部改正に伴い、条例の一部を改正した	原案承認
承認第2号	宜野座村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について		〃
報告第5号	平成29年度宜野座村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	繰越額：5億5千66万5千円	原案報告
報告第6号	平成29年度宜野座村水道事業会計予算繰越報告について	繰越額：7千360万4千円	〃
報告第7号	宜野座村観光拠点施設外構工事（2工区）請負改定契約の専決処分の報告について	工事内容変更等に伴う工事請負改定契約	〃
決議第1号	議員派遣について	北部市町村議会議員研修会及びスポレク大会、町村議会正副議長・正副委員長研修会、沖縄県人ブラジル・アルゼンチン移住110周年記念事業に派遣	原案採択

平成30年 第5回 臨時会（8月2日）で決まったこと

議案番号	件名	概要	審議結果
議案第31号	平成30年度宜野座村一般会計補正予算（第2号）について	歳入歳出それぞれ1億261万2千円を追加し、予算総額69億2千550万7千円とする	原案可決

北部市町村議会議員・事務局職員研修会及びスポーツ・レク大会



宜野座村議会議員による幕開け!! バッチリ??
かぎやで風 (カジャディフウ)

- 目的： (1) 議会の円滑な運営と地方自治の振興発展を図ることを目的に研修会を開催
(2) 議会議員及び事務局職員の健康増進と親睦を図ることを目的にスポーツレクを開催

日時：平成30年7月5日(木)

場所：大宜味村

テーマ「世界自然遺産とやんばるの未来」

講師：市田則孝氏

(NPO法人やんばる舎 理事長)

スポレク：グラウンドゴルフ

町村議会正副議長・正副委員長研修会



移民資料館の設置を!!

日時：平成30年7月24日(火)

場所：ちゃたんニライセンター

13:30～15:00

「沖縄移民100年の歴史」

講師：石川友紀氏

(琉球大学名誉教授)

15:15～16:45

『舞台裏からみた

政治とこれからの政局展望』

講師：有馬晴海氏(政治評論家)

9月定例会は9月11日(火)からの予定です。

みんなで議会を傍聴しよう。いこうよ! みようよ! 考えようよ!



議会広報調査特別委員会

議長 小渡久和

委員長 眞栄田絵麻

委員 照屋忠利

副委員長 平田嗣義

委員 新里文彦

以上のメンバーで議会だよりを編集しています。